

～清流木曾川に抱かれた

『豊かさ』と『やすらぎ』あふれる創造文化都市実現のために～

令和5年度予算のあらまし

令和5年度は、「子ども」「生活環境」「まちづくり」のポテンシャル向上にスポットを当て、新規事業の展開や拡充に積極的に取り組み、町内外問わず多くの人たちと力を合わせて、「アフターコロナ」をまい進する予算編成としました。

安定的な行政サービスを提供し、「アフターコロナ」を見据えた、新たな発想や取り組みによる魅力あるまちづくりを推進するため、第6次総合計画に掲げる各種施策を着実に実行します。

予算総額

会計名	令和5年度	令和4年度	対前年度比較
一般会計	74億4,070万円	72億9,570万円	1億4,500万円増(+1.99%)

※特別会計、企業会計の予算総額は、町ホームページをご覧ください。



▲令和5年度予算の詳細はこちら

令和5年度予算 主要事務

1. 未来を担う「子ども」の支援で笑顔がUP



● 北海道新ひだか町へ中学生を派遣 287万円

笠松町と同じ「競馬のまち」として有名で、全国有数の競走馬の産地である北海道「新ひだか町」に中学生を派遣し、住み慣れた地と全く異なった風土に接し、様々な体験学習を通して、新たな学びや生きる力の成長を育みます。



● 教室照明のLED化で学習環境向上と環境負荷軽減 893万円

各小中学校の教室照明に光の質や機能性に優れたLED照明を導入し、安定した明るい教室の維持とともに、消費電力削減によるCO₂排出量などの環境負荷軽減やランニングコストを削減します。

令和5年度は笠松小学校と下羽栗小学校に導入し、令和6年度以降に順次、他校にも整備します。



● 笠松中学校トイレ改修工事 5,100万円

生徒会、PTA、町内会連合会などで構成する「トイレ研究会」で、生徒たちの心が癒される憩いの場となるトイレの整備を進めています。

令和4年度は中学校西舎8か所と北舎2か所が完成し、令和5年度は北舎6か所に着手します。



● 一人ひとりに寄り添う子育て支援 301万円

これまで実施してきた切れ目ない妊産婦の心身ケアや子育てのサポートに加え、負担が重いとされる多胎妊産婦の方に健診回数の追加や外出支援など、きめ細やかな支援を行います。

2.安心安全な「生活環境」の整備で暮らしやすさがUP



● 便利で安全、快適な道路の整備

1億2,804万円

すれ違いが困難な堤防坂路の改修、通学路付近排水路への張り出し歩道の整備、パイプライン上部利用整備の継続実施など、より便利で安全、快適な道路を整備します。



● ひととウマとネコが幸せに暮らせる町を実現

350万円

町内で野良猫が増加する中、実証実験を兼ねて「クラウドファンディング型ふるさと納税」を活用し、増加が著しい笠松競馬場周辺の猫が安心、安全に生活できるよう、保護猫ボランティア団体や岐阜県地方競馬組合と協力して、保護猫シェルターを整備、運営します。

3.賑わいあふれる「まちづくり」でまちの魅力がUP



● 円城寺厩舎跡地活用の検討に着手 176万円

岐阜県地方競馬組合の円城寺厩舎の集約化施設再整備事業に併せ、笠松町と岐南町で移転後の土地の計画的・効果的な利用を図る共同調査研究を実施し、まちづくり構想案などを策定します。



● 官民連携で笠松みなと公園を活性化 788万円

笠松みなと公園に常駐する事業者と連携し、これまでのイベントに加え、新たな賑わい創出のため、スポーツ教室や有料BBQ運営の自主イベント開催などの新たな社会実験を展開し、常時営利活動が可能となる「都市・地域再生等利用区域」の指定を目指します。

4.「アフターコロナ」に柔軟に対応するDX推進



● 巡回町民バスの走行位置情報をリアルタイムで配信

70万円

巡回町民バスの走行位置、遅延時間、車内の混雑状況などの情報が、バス停のQRコードから簡単に確認できるようになり、町民バス利用者の利便性が向上します。また、運転手がバス停ごとに乗降者数を記録していた作業も自動化し、運転手の負担を軽減します。(詳細は10ページ)



● 一般質問のネット配信で開かれた議会を実現

376万円

住民の皆さんへ「開かれた議会」、「身近に興味・関心を持ってもらえる議会」となるよう、令和5年第2回定例会から一般質問の映像をインターネットの動画配信により公表します。